

発達障害や知的障害の人の多くは身体の動きに不自由はありません。しかし日常生活には特別な配慮が必要です。この映像教材では 障害のある人の特有な思考法を理解し、具体的な対応の仕方を学ぶことによって、知的障害のある人とより豊かなコミュニケーションを交わすことを目指します。

#### 【主な内容】

序 章：エピソード（ドラマ）

第1章：主な「発達障害」について

①知的障害 ②自閉性障害

③注意欠陥多動性障害（ADHD）④学習障害（LD）

第2章：コミュニケーションが成り立つ要件

第3章：対話をする際の配慮すべき点と工夫のポイント

まず向き合うことから

記憶の弱さを補う

理解できる疑問詞を知る

質問の形式への配慮

理解できる単語を選ぶ

あいまいな時間軸

擬音 擬態語など行動を的確に表現する言葉を使う

わかりにくい「もしも～ならば」

過去の経験に答えが影響される

連想しやすくする

コミュニケーション力を育てる

第4章：家庭での生活と良いコミュニケーションをとるための工夫例

制作協力：公益社団法人 発達協会・社会福祉法人 さざんかの会

定価 12,600円（税込）

2007年2月製作〈32分〉

【製作・著作】

株式会社アローウィン

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-12-5 セブンビル501

tel 03-3361-6789 fax 03-3361-6776

URL <http://arowin.net> e-mail [contact@arowin.net](mailto:contact@arowin.net)



このDVDを権利者に無断で複製、放送、公開上映などに使用することは法律で禁じられています。



# なぜ伝わらないのか、 どうしたら伝わるのか

～知的障害を持つ人との豊かなコミュニケーションを求めて～

## 児童編



なぜ伝わらないのか、  
どうしたら伝わるのか

児童編

企画・監修・原案

湯汲 英史 早稲田大学 教育・総合科学学術院前教授

公益社団法人 発達協会 常務理事 / 言語聴覚士 / 精神保健福祉士

